



多摩美術大学校友会会報

alT

The alumni association of
Tama Art University

1996 Spring

発行日：1996年3月10日

編集発行：多摩美術大学校友会事務局

〒158東京都世田谷区上野毛3-15-34 多摩美術大学内

tel.03-3702-1168(直通)

tel.03-3702-1141(大学代表)

fax.03-3702-2235

卒業生・新入生の皆さんへ 校友会の案内

ご卒業、ご入学、おめでとうございます。

平成7年11月、多摩美術大学60周年を機に念願でありました多摩美術大学校友会が発足しました。大学の伝統そのものが卒業生のすぐれた業績の上に築かれ、多摩美術大学の基盤となっています。発足して短時間に全ての内容を充実することは費用、その他の事情で大変困難を極めています。まず、名簿発行、様々な意味でのインターネットへ参入、在校生への奨学金制度等を実行に移したいと願っています。幅広く、それぞれが充実した、開けた校友会を目標としています。それには皆様のご協力が不可欠なのです。多摩美術大学校友会を皆様の手で発展させて意味ある組織とさせていただきたいと願っています。

校友会の設立によせて

多摩美術大学校友会会長

勝呂 忠

昭和25年多摩造形芸術専門学校絵画科卒業

京都産業大学教授

成安造形大学講師

明治美術学会会員

駿河台文学会会員

多摩美術大学は、創立いらい幾多の変遷を経て、今日の驚異的とも思える発展を成し遂げた。この事は、我々卒業生にとって大きな誇りであり、まさに世に喧伝して恥じないものと思う。この度、卒業生積年の期待であった校友会設立の運びとなり誠に慶ばしいことで、私は諸手を挙げて賛同したわけである。

大学の発展は、施設や教師の充実だけでなく、美術界ならびにデザイン界のそれぞれの分野に活躍する作家達を、いかに多く世に送りだしたかという事実と相まって、初めて評価される。校友会は約2万人といわれる卒業生に支えられた「校友の場」であり、また、さらなる母校の発展に寄与する使命を負うものであると私は考えている。

活動内容

平成7年11月3日に一步を踏み出し、正式に発足したばかりです。たくさんの夢は膨らみますが、会費を最大限有効に使用することを考え、まず出来ることからじっくりと進めていきたいと考えます。

1. 総会の開催

年に1回(春期)、総会を開催します。「総会」というと硬いイメージをお持ちの方も多と思います。あなたの真摯な意見は「大きい・小さい」や「古い・新しい」などと決まったものさしで測ることはできません。卒業生であれば誰でも同じ土俵で自由に話し合える、そんな柔らかな楽しい、そして公平な会議です。

2. 懇親会の開催

総会終了後にお食事を召し上がりながらご歓談いただきます。幅の広い、そう多種多様な職業や生き方の卒業生が集まるのは校友会ならではの…と思わせてくれる新たな発見がここにはあるかもしれません。

3. 会報誌「aIT」の発行

年に1回、定期総会終了後、正会員にお送りします。校友会の運営内容を明解にお知らせし、皆様のご意見も反映できる紙面を目指しています。なお、「aIT」は「アルティ」と呼んでいただければ幸いです。

4. 名簿の発行

第1回目は平成10年に発行を予定しています。時間を要し、間違いが許されない編集業務ですが会員と会員を結ぶ重要な役目を果たすと考え、慎重に作成します。

皆様のご協力をお願い致します。ここにこんな人が…といった時にはご一報を。

卒業生へ

卒業生の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年より卒業生から校友会の活動についてたくさんのお問い合わせをいただきました。住所の確認が出来なかったり、説明不足であったりとご迷惑をおかけした事と思います。今後、その様な問題点を一つ一つ解決して前進していきたいと思えます。しかし一方通行の情報、呼び掛けは、偏った内容、わずかな人数に止まってしまいます。

皆様ひとりひとりの心の片隅に校友会の存在がある事が、実質的公正な広報になりうるのです。昨今、ネットワークの世界は容易に理解出来ない程の勢いで進んでいます。校友会としては親睦のためのネットワークも必要と考えます。それと同時に現代に生きる卒業生のための画期的ネットワークも形作りたいのです。多種多様な経験をお持ちの卒業生はアイデアの宝庫です。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

なお、事務局では細やかなことでもご意見、情報をお待ちしています。

●卒業生は全員が正会員です。

*会則 第2章第8条

●終身会費は30,000円。

分割納入

(10,000円×3回)も可能です。

*会則 第5章第29条

(会費納入は郵便振替にてお取扱ひしています。)

●会費を納入された正会員には総会においての議決権があります。また、平成10年発行予定の名簿を1冊無料でお届けします。

*会則 第4章21条・事業細則

新入生へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

「校友会」って何だろう、皆さんそう思うことでしょう。簡単にご説明するなら、学校法人多摩美術大学の卒業生の会です。多摩帝国美術学校創立から、多摩造形芸術専門学校、多摩美術短期大学、多摩美術大学、多摩美術大学大学院、多摩芸術学園と歩み、現在、約2万人の全卒業生が正会員となっています。多摩美術大学の在校生は準会員にあたり卒業を迎えた時、正会員となります。卒業生の方々は多方面にわたり社会で頼もしい活躍をされています。まだまだスタートしたばかりの「校友会」ですが、後に続いて元気に羽ばたいて行くであろう在校生に心強く思ってもらえる存在になろうと努力しています。今後、在校生と卒業生がお互いに協力できる関係でありたいと願っています。

●準会員である在校生には在学中1年につき10,000円ずつ会費予納をお願いしています。(一括納入30,000円も可)

●なお、合計30,000円は卒業後、終身会費とさせていただきます。

●卒業時に名簿を1冊無料でさしあげます。

連絡とお願い

会費納入は郵便振替をご利用下さい。その際、あなたが〇〇年〇〇科〇〇専攻の卒業生であるかを必ず明記してください。

口座番号(東京)00140-8-770194

多摩美術大学校友会

校友会の設立によせて (平成7年2月発行「多摩美術大学校友会設立案内」よりご紹介させていただきます)

待望の校友会設立を祝う

多摩美術大学理事長
藤谷宣人

多摩美術大学創立60周年を明年にむかえてこのたびの校友会の結成は、まことに画期的なことであり、心から歓迎、祝意を表するとともに、大学としても積極的に支援をいたしたい。大学にとっても最も誇るべきは、卒業生であり、卒業生こそが最大の財産である。大学と校友会の一層の充実と卒業生の活躍を祈ってやまない。

多摩美術大学校友会の 発足を祝して

多摩美術大学学長
後藤狷士

多摩美術大学の創立60周年の佳年にあたり、ほとんど全国にわたる同窓会諸氏の熱意ここに結集して、一大学校友会の発足をみるに至りましたことは、まことにご同慶にたえないところです。あたかも本学が新しい美術教育の構想を新しいキャンパスの場に創建しようとするまさにその時、この同志団結の力強い事業は、本学の新世紀へ向けての輝かしい躍動を予示するものでなくて何でありましょう。多数のすぐれた卒業生の諸氏の深い暖かいご支援の、今後ともいやまさんことをお願いしてやまないしだいであります。

校友会設立を祝う

美術学部長
奥野健男

多摩美術大学に昭和36年(1961年)から勤め、今年で33年目という古狸になると実に多くの学生たちと接したものだと思う。別に実技の担任を持たない学科の教師だが、古い学生ほどぼくをよく憶えていてくれて、意外なところで声をかけられる。ゼミをはじめから30年、何かと言うとよく集まってくれる。日本画、油画、彫刻、グラフィック、染織、建築と科は異なり、年代も違うが緊密に網のような連携をつくり、ぼくの知らないところでも連絡をとりあっているらしい。展覧会や舞台美術や本の装幀でも出会うし、芸術学科が出来てからは各地の美術館や画廊や編集者の中でよく出会う。みんな個性的でありながら多摩美をなつかしがり、誇りにしている。

創立以来内外の紛争が多かった学校だから、村田元理事長が校友会組織をつくらせなかったのも当時としては賢明な方針だったと思うが、もうそういう心配などないほど多摩美は成長した。世界の多摩美大として21世紀に飛躍するためには、卒業生、教員、職員、在学生たちの一体感の核としての校友会が是非とも必要である。遅すぎたという声もあろうが創立60周年の今日が校友会設立にもっとも適わしい時ではないかとぼくは思う。校友会の広々とした遥かなる発展を希求いたします。

校友会に期待する

美術学部二部学部長
品田雄吉

私の属している美術学部二部はまだ歴史が浅く、それだけにそこに学んだものすべてを結びつける組織の必要性をつよく感じています。その必要性を満たしてくれる物として、校友会ができることを心から歓迎します。

理事・役員紹介

理事・相談役

北 陽平

昭和16年多摩帝国美術学校図案科卒業

理事・監査

堀友三郎

昭和20年多摩帝国美術学校図案科卒業
多摩美術大学客員教授／(社)日展評議員／
(財)中村研一記念美術館常任理事／福沢一
郎記念美術財団理事／(社)光風会理事

理事・監査

齊藤 惇

昭和23年多摩造形芸術専門学校
日本画科卒業
日本美術院招待／千葉県展常任理事／
NHK文化センター講師

理事・会計

長江録弥

昭和23年多摩造形芸術専門学校彫刻科卒
業
日展理事／日影会理事・委員長／芸術院会員

理事・事業部事業計画(名簿)

魚成祥一郎

昭和28年多摩美術短期大学図案科卒業
(株)乃村工藝社顧問／日本ディスプレイ
デザイン協会参与／千葉大学工学部非常勤講
師／女子美術短期大学非常勤講師

理事・事業部事業計画(奨学金)

真鍋 博

昭和29年多摩美術短期大学絵画科卒業
イラストレーター

理事・事業部事業計画

吉城 弘

昭和30年多摩美術短期大学絵画科卒業
洋画家／自由美術所属／多摩教育の会会
長／桑の実美術学園研究所長

理事・事業部事業計画(奨学金)

東海林 隆

昭和32年多摩美術大学図案科(平面)卒業
(株)博報堂代表取締役社長

副会長・事務局

竹内成志

昭和32年多摩美術大学図案科(平面)卒業
多摩美術大学教授

理事・組織部(地方支部)

わたなべひろこ

昭和32年多摩美術大学図案科(染織)卒業
多摩美術大学教授

理事・事業部事業計画・会計

金岡岩雄

昭和33年多摩美術大学絵画科(油画)卒業
国立教育会館研修事業講師

副会長・組織部(幹事会)

稲垣行一郎

昭和34年多摩美術大学図案科(平面)卒業
広州美術大学客員教授

理事・事業部事業計画(広報)

神田昭夫

昭和34年多摩美術大学図案科(平面)卒業
グラフィックデザイナー／長岡造形大学教
授

理事・組織部(学生会在校生)

市川保道

昭和35年多摩美術大学絵画科(日本画)卒
業
多摩美術大学教授(二部兼務)／創画会

理事・組織部(幹事会)

山崎美喜男

昭和35年多摩芸術学園写真学科卒業
(株)スタジオアルファ代表取締役／新多摩
芸術写真協会会員／日本写真家協会会員

理事・組織部(地方支部)

大倉友光

昭和36年多摩芸術学園写真科卒業
多摩美術大学技術センター職員

理事・組織部(地方支部)

翁観二

昭和36年多摩美術大学彫刻科卒業
行動美術協会会員／宮城県芸術理事／河
北美術展顧問

理事・会計・事務局

岡崎 紀

昭和36年多摩美術大学絵画科(油画)卒業
多摩美術大学教授／新制作協会会員

理事・事業部事業計画(名簿)

太田幸夫

昭和37年多摩美術大学図案科(平面)卒業
多摩美術大学教授／サイン素材・情報セン
ター理事長／日本サイン学会会長／日本デ
ザイン学会評議員／(株)asu代表取締役社
長／ISO(国際標準化機構・ジュネーブ)専
門委員会国内委員・幹事

理事・事業部事業計画(企画)

岩倉信弥

昭和39年多摩美術大学図案科(立体)卒業
本田技研工業(株)常務取締役

理事・事業部事業計画(企画)

関根伸夫

昭和41年多摩美術大学絵画科(油画)卒業
環境美術家

理事・組織部(学生会在校生)

竹田光幸

昭和41年多摩美術大学彫刻科卒業
多摩美術大学教授／二科会会員

理事・事業部事業計画(奨学金)

五十嵐威暢

昭和43年多摩美術大学グラフィックデザ
イン科卒業
金沢工業大学デザイン顧問／(社)日本グラ
フィックデザイナー協会理事／山田照明
(株)総合デザイン顧問／多摩美術大学客員
教授／(株)イガラシステューディオ／IGAR-
ASHI INC.

事務局

中野嘉之

昭和43年多摩美術大学絵画科(日本画)卒
業
多摩美術大学教授

理事・事務局

渡辺達正

昭和45年多摩美術大学絵画科(油画)卒業
多摩美術大学助教授

事務局

田中康夫

昭和46年多摩美術大学絵画科(油画)卒業
多摩美術大学助教授

事務局

弥永保子

昭和46年多摩美術大学デザイン科(染織)
卒業
多摩美術大学講師

理事・事業部事業計画(広報)

海老塚耕一

昭和51年多摩美術大学建築科卒業
多摩美術大学助教授

理事・組織部(幹事会)

田代孝一郎

昭和51年多摩美術大学建築科卒業
(株)アートファニチャー役員

顧問

内藤頼博

多摩美術大学名誉理事長

顧問

末松正樹

多摩美術大学名誉教授

北海道支部長

栗谷川悠一

長野支部長

浅野盛男

照電プラスチック工業(株)代表取締役／照
電工芸(株)代表取締役

新潟支部長

畠山恒雄

福岡支部長

藤丸國彦

洋画家

佐賀支部長

青木久重

愛知支部長

内藤圭介

広島事務局

中村孝義

広島YMCA国際ビジネス専門学校非常勤務
講師／有限会社バラガンホームページ制作
マネージャー&講師

静岡支部長

鈴木健司